

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2018年11月15日

事業所名: 児童発達支援事業所 エントランス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・ 体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用人員に応じたスペースの確保を行っている。	・広々として清潔感があります。	・現在の環境を維持する。
	2	職員の適切な配置	利用人員に応じた職員の配置を行っている。	・充分だと思います。 ・親の知識不足でわかりません。 ・発達検査ができる先生がいるとより良いと思います。	・個別の様子に応じた人員配置をしています。 ・発達検査の依頼がある際には、外部委託の心理療法士で対応しております。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	防音、クッションマットを室内に敷き、体を動かしやすい環境づくりをしている。 見通しが持て、安心して過ごせるように、スケジュールを視覚化していく。	・色々なプリントが貼りだされていて、わかりやすいです。	・現在の環境を維持する。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	発達に応じた玩具を提供し、それを選択しやすい環境づくりを行っている。	・清潔感があり、空間も充分にあると思います。	・現在の環境を維持する。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々のケース会議を行い、職員同士活発に意見を取り交わしている。	/	・現在の運営内容を継続する。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	未実施	/	・必要に応じて第三者による外部評価を実施する。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員研修を受ける機会を提案し、積極的に研修会に参加している。	/	・現在の運営内容を継続する。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	記録を取りながらアセスメントを行っている。 連絡ノート若しくは、保護者対応を通しての日々のニーズの確認を行いながら支援計画に繋げている。	・十分な説明をしてください。 ・元々、どのようなものかよくわからない。 ・「具体的な目標」を評価時に成長具合がわかりやすくなる内容にして欲しいです。 ・支援内容は選択制でなく、個人個人のニーズに沿った具体的な内容にして欲しいです。 29年度の様なフォーマットへの変更を希望します。	・目標の評価については「できるようになった」「苦手なところもある・難しい」表記しております。評価がわかり辛い気持ちの面等は表記が難しい場合もありますが、出来る限りわかりやすい内容にしていけたらと思います。 ・フォーマットの形式については変更がございましたが、内容については前年度と変わらずに個別のニーズに沿った内容となっております。わかり辛い場合がありましたら、ご質問いただけたらお返事致します。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別の課題を集団活動の中に取り入れたプログラム作りをしている。		
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	幼稚園教育要領・保育所保育指針を基に支援項目を設定し、個別のニーズに応じた具体的な支援目標を記載している。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別にファイリングを行い、事前ミーティングにて内容の確認、職員全体で把握する事で、直接支援に繋げている。	<ul style="list-style-type: none"> できれば言語活動を毎週して欲しいです。 支援計画が日々の療育にどのように落とし込まれているのかの説明があると助かります。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語活動については、日々の活動の中で取り入れております。 計画作成、立案をする際の面談の中で説明を致しております。疑問がある際には、お問い合わせを頂けたら幸いです。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	長期、中期の見通しを踏まえ、チームで意見し合い、日案を具体化している。		<ul style="list-style-type: none"> 「きょうのよてい」にて保護者の方向けにスケジュールを掲示させて頂いております。 長期休暇の利用の予定は、固定の利用者の方々利用状況によって異なります。予定が分り次第、配布物にて連絡致します。 曜日を固定する事で、個別の課題、様子に合った取り組み、経験ができています。年度終わりに見通しを持ったプログラムになっていますので、利用は固定の曜日にてお願いをしております。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇に応じたプログラムの提供を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> その日に行われたプログラム・スケジュールが何を何分間行った等、わかるようにして欲しいです。 冬休み、春休みなども今年の夏休みの様に午前クラスを利用させて頂けたら助かります。 長期休暇など通う曜日を柔軟に対応して欲しい。 	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	個別のやり取りの中で、興味関心にタイムリーに気づき、その時のニーズをプログラム内容に取り入れている。		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始直前にミーティングを実施し、支援内容や職員の役割り分担の確認を行っている。		<ul style="list-style-type: none"> 現在の運営内容を継続する。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	記録を作成しながら、ミーティングを行い、職員間でその日の情報を共有し、次回の支援に繋げる様にしている。		<ul style="list-style-type: none"> 現在の運営内容を継続する。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	連絡ノートでの保護者側の記録、当日の個別状況、支援内容の情報をフィードバックしている。		<ul style="list-style-type: none"> 現在の運営内容を継続する。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	個別面談を年に2回、また、必要な時に面談を行い、保護者のニーズの確認、そこに即した見直しを行っている。		<ul style="list-style-type: none"> 現在の運営内容を継続する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	必要な時には依頼をし、また、依頼があった時には児童発達管理責任者が参加している。		・現在の運営内容を継続する。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者を通しての情報共有、依頼がある際には訪問等を行い支援内容を保育所や幼稚園の職員と支援方法を確認している。		・現在の運営内容を継続する。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	未実施		・必要に応じて実施する。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	モニタリングを通して専門機関と連携をしている。 専門機関からの研修の案内を行い、積極的に参加している。		・現在の運営内容を継続する。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	未実施	・保育園に通園しておりますので、特に問題ありません。	・必要に応じて実施する。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域や関連事業の行事案内を行い、参加していただいている。		・現在の運営内容を継続する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用開始の契約時の個別説明、毎年度はじめに全体説明を行っている。		・現在の運営内容を継続する。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別面談時に説明をしている。		・現在の運営内容を継続する。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	全体掲示、資料配布にて情報提供を行っている。また、個別にて相談対応を実施している。	・日ごろから先生とお話をしているが、父親が対応に困る事がある。	・日々の連絡ノートや、やり取りの情報を共有して頂けたら幸いです。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	利用時の保護者対応にて、情報を共有し、共通理解ができる様な時間を設けている。		・現在の運営内容を継続する。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	依頼が生じた場合、適宜時間を設け対応、個別の面談を実施している。		・現在の運営内容を継続する。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会は設けていないが、保護者交流をする機会場の場を設けている。		・現在の運営内容を継続する。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	事業所内に苦情窓口を設置している。		・現在の運営内容を継続する。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	日々、連絡ノート、保護者対応等やり取りを行い、情報伝達や意思疎通を行っている。		・現在の運営内容を継続する。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	行事や連絡事項については配布物にて、当日の活動内容については、掲示等で可視化を行っている。		・現在の運営内容を継続する。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いについては、持ち出さない等秘密保持を徹底している。		・現在の運営内容を継続する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルについては作成している。職員間での情報共有、保護者へは配布物にて対応している。	・不審者が部屋に入ってくるような可能性はないのでしょうか？ ・活動中は部屋に鍵をかけているのでしょうか？	・療育時間中は施錠をしております。マニュアルや防犯訓練にて職員間で周知しております。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	災害に合わせた避難訓練を実施している。火災・地震と各1回、年2回行っている。防災用のメール訓練を今後実施予定。		防災に加え、不審者対応(防犯)に関する対応策も今後検討を重ねていく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	職員の研修会を実施。虐待防止・虐待時対応マニュアルを作成し、周知徹底をしている。		・現在の運営内容を継続する。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載			必要となるケース無し。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からの聞き取りを元に個別の対応マニュアルを作成。職員間での周知徹底。また、迅速に対応できる様、緊急対応時の流れを電話の側に掲示している。		・現在の運営内容を継続する。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書を作成している。事例が生じた時には、ミーティングにて情報の共有、改善策を行っている。		・現在の運営内容を継続する。